

世界の食料貿易の立ち直りは早い

FAO「食料アウトルック」、2021年の生乳生産量を1.6%増加、乳製品貿易量を2.6%増加と予測

国連食糧農業機関(FAO)は、世界の農産物需給などの概況を見通す「食料アウトルック(Food Outlook)」報告書を毎年2回公表している。6月10日に公表された最新号では、2021年の世界の生乳生産量は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行が一部の主要生産国での生産量を低下させる影響の可能性があるにもかかわらず、安定したペースで増加すると予測している。乳製品の世界貿易は2021年に増加すると予測し、中国をはじめとするアジアに輸入増加が集中するとしている。報告書のうち乳・乳製品の市場動向及びニュースリリースの概要を以下に紹介する。

【食料アウトルック】(*1)

乳・乳製品の市場動向

FAOの今回の予測では、世界の一部でCOVID-19の世界的流行が生産と貿易活動に影響を及ぼす可能性があるにもかかわらず、2021年は乳・乳製品の生産量と貿易量が拡大するとしている。2021年の全世界の生乳生産量は9億2100万トンと予測し、2020年から1.6%増加し、中でもアジアが最も多く増加し、北米、ヨーロッパ、南米、オセアニア、中央アメリカ及びカリブ海諸国、アフリカが続く。

アジアにおいては、インドとパキスタンでの乳牛頭数の増加と、中国での大規模農場の拡大が、生乳生産量の伸びを支えている。乳牛頭数と乳量の増加は、営農技術の改善とともに、南北アメリカの大部分の国々の生産量の拡大を下支えしている。EUとオセアニアでは、好天と牧草地の改善により、飼料コストの上昇が抑えられ、生乳生産が増加する可能性があるとしている。

乳製品の世界貿易は、2021年には8800万トン(生乳換算)になることが予測され、2020年から2.6%増加し、アジア、特に中国に輸入増加

世界の乳・乳製品市場の概観

世界総量	2019年	2020年 (推定)	2021年 (予測)	増減(%): 2021年/2020年
	総生乳生産量(百万t)	888.1	906.2	921.1
総貿易量(生乳換算百万t) ¹	77.8	85.7	87.9	2.6
1人当たり消費量				
世界(kg/年)	115.1	116.1	116.8	0.6
貿易のシェア(%)	8.8	9.5	9.5	0.9
FAO乳製品価格指数 (2014~2016年=100)	2019年	2020年	2021年1~5月	増減(%): 2021年1~5月/ 2020年1~5月
	103	102	116	16.7

¹ 2020年以降、グレートブリテン及び北アイルランド連合王国は、貿易データを集計する際に、EUとは分離した国として扱われている。

が集中する。2021 年の力強い経済成長見通しと元の実質的上昇は、一人当たりの消費量を増加させて消費基盤を拡大させるであろうが、中国で予想される輸入需要の伸びの多くに対して（輸入量の増加は）遅れをとっている。

ブラジル、メキシコ、インドネシア及びマレーシアなども、より多くの乳製品を輸入すると期待されている。それにもかかわらず、COVID-19 による市場の継続的な混乱とそれに伴う景気低迷に起因して、世界の広範な地域で輸入量の減少が発生する可能性もある。しかし、乳製品の輸入需要全体は増加が予想され、それに伴うプロダクトミックスと貿易フローの変化により、乳製品の輸出量は、EU、米国、ニュージーランド及びオーストラリアから大幅に増加すると予測されている。

【ニュースリリース】(*2)

世界の食料貿易の立ち直りは早く、価格も上昇中

今回の報告書によると、世界の食料貿易は、依然、需要と供給の不確実性が続く中で国際的な食料産品価格が高値を維持すると予想されているのに、回復力のある 1 年を迎えることを予測している。

この報告書は、COVID-19 の世界的流行の期間中、貿易フローがこれまでにない高い価格水準になったことを指摘している。実際、全世界レベルでは、農産品、特に生鮮食品ではない食料の貿易は、より広範囲の商品のセクターよりも堅調に推移した。

これにより、2021 年の世界の食料輸入額に関する FAO の暫定予測は 1 兆 7200 億ドルとなり、2020 年の過去最高の 1 兆 5300 億ドルから 12% 増加となる。

しかし、上昇中の価格は、より多くの支出額が依然として脆弱な国々の食生活の量的および

質的な悪化傾向を覆い隠してしまう可能性があるという懸念を引き起こしている。

年に 2 回発行される食料アウトルックは、穀物、植物油、砂糖、肉、乳製品、魚など、世界の主要な食料品の市場需給動向の詳細な評価についての情報を提供している。また、先物市場の動向と食料産品の輸送費についても調べている。

FAO 世界食料消費価格指標 (Global Food Consumption Price Indices) で測定された調査結果の中で、2021 年 5 月のタンパク質の世界平均消費者価格は、2020 年 5 月の水準を 23% 上回った。一方、カロリーの価格は前年同期比で 34% 増加し、2013 年 2 月以来の最高水準に達した。この違いは、肉、乳製品、魚と比較して、小麦、粗粒穀物、植物油の価格が大幅に上昇したことを反映している。

重要ポイント

- 主要な食料産品の世界生産量は今後 1 年間増加することが予想される。ただし、3 年連続で生産量が減少し、世界の消費量を下回ることが予測される砂糖は在庫量の減少が必要であることを示している。
- 油糧種子とその派生製品の市場見通しは厳しく、再び生産が増加しても世界の需要を満たすには不十分と予想される。
- 小麦と米の世界供給は堅調であるが、粗粒穀物の在庫は、2021 年の世界生産量が過去最高になると予想されているにもかかわらず、家畜飼料や工業用澱粉の大規模な利用が予想されることを反映して、減少することが予測される。
- 世界の期末在庫率 (= 期末在庫量 / 合計需要 × 100) は、小麦は 38.0% で 5 年間平均を上回り、米は 35.1% で安定し、粗粒穀物

は 20.8%と低めになることがそれぞれ予想される。

- 2021 年の世界の食肉生産量は 2.2%増加し、3 億 4600 万トンになると予測される。これは、中国での食肉生産の回復予想を反映しており、全ての種類の食肉、特に豚肉のバリューチェーンへの多くの投資とアフリカ豚コレラの蔓延防止のための取り組みによるものである。
- COVID-19 の感染拡大による 1 年間の制限の後、レストランからの需要が回復するため、世界の魚類の生産量は回復すると予想され、価格が上昇する可能性がある。報告書では、パンデミック関連の制限が売上げ動向の変化を引き起こし、イワシ、アンチョビ、サバ、マグロなどの小型遠海魚に利益をもたらしたと指摘している。

参考資料:

(*1)<http://www.fao.org/3/cb4479en/cb4479en.pdf> Food Outlook. June 2021. P. 8. Food and Agriculture Organization of the United Nations.

(*2)<http://www.fao.org/news/story/en/item/1410675/icode/> Global food trade is buoyant, as are prices. Food and Agriculture Organization of the United Nations. (2021 年 6 月 15 日参照)

(Jミルク 国際グループ 新 光一郎)